

授業科目	音響学Ⅱ（音響音声学・聴覚心理学）				
担当者	松井 理直				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

音声の音響的特徴について詳細な解説を行います。

■ 到達目標

日本語音声のフォルマントをはじめとした音響特性について正しく理解し、構音障害の客観的な分析能力や、補聴器・人工内耳の設定に必要な基礎的知識の涵養を目指します。

■ 授業計画

- 第1回 音の持続時間と心理的影響について
- 第2回 純音と複合音
- 第3回 音のスペクトル
- 第4回 スペクトル包絡線と音色の関係
- 第5回 共鳴
- 第6回 音響音声学：声帯振動の特徴
- 第7回 音響音声学：調音と共鳴
- 第8回 閉管の音響特性
- 第9回 開管の音響特性
- 第10回 日本語5母音のフォルマント
- 第11回 接近音の音響特性：フォルマントローカスとフォルマント遷移
- 第12回 摩擦音の特徴
- 第13回 有声性と Voice Onset Time
- 第14回 破裂音の音響特性
- 第15回 音響音声学のまとめ

■ 評価方法

学期末のテストによって評価を行う。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

予習時間は 90 分程度。復習時間は個人の理解度によるが、1 時間程度。

■ 教科書

プリントと web 教材を用います

■ 参考図書

授業中に指定します

■ 留意事項

質問などは大歓迎です。授業中に分からないことがあれば、必ずその場で質問をするようにしてください。

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

■ 講義受講にあたって

対面授業の場合、事前に web 上で予習を行い、対面授業中は質疑応答を行うという形の反転授業を用いることがあります。